Fellow Art Gallery
フェローアートギャラリー

vol.24
與那嶺光雄 展
よなみねみつお
2016年10月19日(水)～2017年1月15日(日)

昨年10月19日から今年の1月15日まで3か月間、アートフォーラムあざみ野で『フェローアートギャラリー　與那嶺光雄展』が開催されました。施設外の会場での単独の展示は川和では初めてでしたが、経験のあるひかりが丘のスタッフや会場のスタッフさんに全面的に手伝っていただき、「魚」シリーズを中心に“ まるで水族館みたい”と言ってもらえるような素敵な展示になりました。3か月の間、展示を見てくださった方々から沢山のアンケートをもらいました。展示に関わってくださった皆さん、アンケートを書いてくれた方々、そして與那嶺さん、貴重な機会を作ってくれてありがとうございました。カプカプ川和には“ アーカイブ”で展示を振り返るファイルを用意しています。見逃した方はぜひ。観てくださった方ももう一度あの展示を手にとってご覧ください。

【與那嶺光雄　よなみね　みつお】
1947年11月15日　沖縄県宮古島市生まれ。漁に出ていた頃、建設現場で働いていた頃の話をよくしてくれる。縁あってカプカプ川和に通うことになり、周りのメンバーが絵を描いているのを見て、初めて絵を描き始めた。はじまりは製品のラベルなどの色塗り。色鉛筆で塗り重ねる独自の色彩。塗るだけでなくなんか描いてみてよ、という周囲の声に応えて、魚、植物など形ある物を描き始め現在に至る。

【カプカプ川和　店内作品展示のご案内】今号のやまなしは初めての増ページでメンバーの作品を紹介しています。川和の作品は、それぞれの居場所でそれぞれのペースで様々に出来上がってきます。喫茶スペースではそんなふうに出来てきたみんなの作品を展示しています。今年の展示スケジュールは、１月に書き初め、２月３月は織りの作品を飾りました。4月からは今まで表に飾られることが少なかった、けれどぜひとも観ていただきたい！ そんな作者ひとりをフィーチャーした展示にしようと計画中。素敵な作品に囲まれておいしいコーヒー飲みにきてくださいね。

２０１７年3月１４日～１５日、川和の一泊旅行

2年ぶりの1泊旅行はメンバーのリクエストで鴨川シーワールドへ。この時期にしては風が強く寒い2日間でしたが、初参加のメンバー、久しぶりに会う元スタッフの手伝いなどあり、忘れられない2日間になりました。

やまなし　第12号　2017年４月発行

やまなし

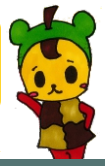
クラムボンは
かぷかぷ
わらったよ。

カプカプ川和
横浜市都筑区川和町1331-1
045-938-5801

カプカプ竹山
横浜市緑区竹山3-1-8,3102-203
045-934-6668

カプカプひかりが丘
横浜市旭区上白根町891-18-4-103
045-953-6666

応援団
大募集中です!

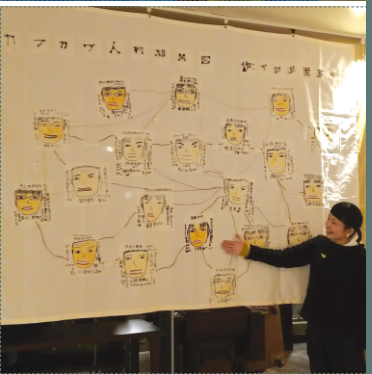


題字：キヤマシュンスケ、「クラムちゃん」イラスト：アゼカワマユ

ＦＨＳネットカプカプ
新会員募集と継続加入のお願い！！

「やまなし」は、地域作業所カプカプの後援会「ＦＨＳネットカプカプ」の通信です。ＦＨＳネットカプカプでは、地域作業所カプカプを応援するために、広く会員を募集しています。地域作業所カプカプの様々な活動を支え、見守ってくださるよう、新規加入をお願いいたします！　また、今まで支えてきてくださっている会員の皆様には、引き続き、応援をお願いいたします。

●年会費１口1,000円（1口以上何口でもＯＫ！）
郵便振替　00290-2-36249 ＦＨＳネットカプカプ
ＨＰ　kapukapu.org
メール　kouenkai@kapukapu.org



思えばいつも「願えば叶う！」がわたしたちの合言葉だった。隔月でアートのワークショップを開催してくださるミロコマチコさんの個展などで度々お伺いしたことのあったJIKE　STUDIOさん。ここ、素敵だなぁ～（ため息）、いつか、ここで、カプカプーズの作品、展示、したいなぁ～（ヨダレ）なんて、まずは、叶うかなんて、ぜんぜんわからなかったけれど、とにもかくにも、願ってみた。願って、そのことを、誰かに伝えて。そしたら、なーんと、叶っちゃった！！！

横浜市青葉区寺家町にある、お洒落で、のどかで、のびやかながら、カプカプ同様、ゆるやかに、したたかに、「世界を変える」ことを企む、JIKE STUDIOさん。社長はじめスタッフのみなさんと、ミロコマチコさんの全面的かつ積極的なご協力をいただき、『ミロコマチコ展』の一角を『カプカプ部屋』としてカプカプーズ作品を展示販売させていただくと共に、ミロコ展会期中、連動企画として、カプカプーズ作家による似顔絵コーナーやら、ミロコマチコさんのワークショップから生まれたカプカプテントでオリジナル雑貨を販売する『カプカプ・ポップアップショップ』を設置するなど、カプカプーズの魅力をもりだくさんに発信する、なんとも愉快でこころづよい〈場〉をつくることができました。

中でも目玉は、『カプカプ祭りin JIKE STUDIO』と称した一日限定のパフォーマンスイベント。ミロコワークショップでお馴染みの「とんかつ屋」の恰好で臨んでくれた冨原貴俊画伯とミロコさんのライブペインティングと、隔月でダンスのワークショップを開催してくれる新井一座（新井英夫・板坂紀代子・ササマユウコ）とカプカプーズによる『カプカプ八木節スリラー』の上演。ヘンテコダンスの輪にお客さんも巻き込まれ、JIKE STUDIOが揺れた、最高の、一日でした。

カプカプ竹山に製菓工房ができました！

２０１７年１月３０日、待望の「製菓工房」がついに完成しました！赤い羽根共同募金の施設整備費配分金ならびに日揮社会福祉財団の助成金を活用して改修工事・オーブン等の備品購入を行って完成した製菓工房。この工房のおかげで、メンバーみんなで作った美味しいパウンドケーキやチーズケーキをたくさんの人たちに販売し、召し上がっていただくことができるようになりました。ケーキがたくさん売れれば、メンバーに支払う工賃の安定を図ることが期待できます。さらに、ケーキを作る作業はもちろんのこと、販売の仕事や包装作業、パッケージのデザイン等、メンバーが携わる作業を開拓することで、仕事に対するモチベーションが高まることも期待しています。今後の目標は、「地域の行事での販売」「地域の高齢者施設等での販売」など販売の機会や販路を増やし、カプカプ竹山の美味しいケーキをより多くの人たちに食べてもらうことです。カプカプ竹山にお越しの際は、新しい製菓工房を是非のぞいてみてください。みんなが楽しくケーキを作っているところを見ることができるかもしれません。

〈右手の作品〉カプカプイラスト部部長、アゼカワマユが、マンガ用編集ソフトを使って制作した初の本格4コママンガ。彼女が生み出したオリジナルキャラクターたち〈通称「アニカプ・フレンズ」〉が登場するストーリーは、「カプカプ通」にはわかっちゃう「ツボ」を絶妙におさえ、カプカプの日々を、けっこう如実に表している。カプカプに遊びに来て、それぞれのキャラクターのモデルになっているカプカプーズを見つけてみてね！